

# 教育システム情報学会

Japanese Society for Information and Systems in Education



発行日 2002年 3月25日  
 発行所 教育システム情報学会  
 発行者 岡本敏雄  
 〒661-8520 尼崎市南塚口町7-29-1  
 園田学園女子大学情報教育センター内  
 ☎06-4961-6507 FAX06-4961-6508  
<http://www.jsise.org/>  
 E-mail:secretariat@jsise.org

## ニュース・レター No.116

### 第 27 回全国大会のご案内



ユビキタス情報社会への挑戦



～新しい教育パラダイムの構築を目指して～

本年度の全国大会は、静岡大学城北キャンパス（浜松市）にて開催されます。今回の大会では、いつでもどこでもすばやく情報のアクセスができる高度情報化ネットワーク社会の到来に向けて、新しい教育のあり方と望ましい教育システム環境を探ります。講演、パネル討論、各種発表セッションを企画しております。多くのご発表、ご参加をお待ちしております。

開催日時 2002年 8月 29日(木)・30日(金)

会 場 静岡大学城北キャンパス  
 〒432-8011 静岡県浜松市城北3 - 5 - 1

主 催 教育システム情報学会

後 援 文部科学省 / 経済産業省 / 静岡県教育委員会 / 浜松市教育委員会 (依頼中)

協 賛 ALIC (先進学習基盤協議会) / 教育工学会 / 電子情報通信学会教育工学研究会 / その他 (依頼中)

大会日程

8月29日(木) [第1日]

9:00～	受 付							企業 展 示 会
10:00～11:00	基調講演 「教育の情報化」最先進国への道程～教育システム情報学会の果たす役割と機能～							
11:00～12:00	特別講演 「e-Japan戦略と教育」							
12:00～13:00	理 事 会							
13:30～14:00	総 会							
14:00～16:00	企画セッション T1:CAI 研究部会	企画セッション T2:情報教育研 究部会	企画セッション T3:知識・言語処 理応用研究部会	A1:一般講演	A2:一般講演	A3:一般講演		
16:10～18:00	パネル討論会 「ユビキタス学習環境の展開」 コーディネータ 大槻説乎(広島市立大学)			B1:一般講演	B2:一般講演	B3:一般講演	ポスター セッション	
18:30～20:30	懇 親 会							

2 ページへつづく

# 今年の夏の全国大会は静岡大学

## 8月29日, 30日に決定!

8月30日(金) [第2日]

受 付							
9:00~	企画セッション T4: マルチメディア教材研究会	企画セッション T5: 企業内教育研究会	企画セッション T6: インターネットと教育応用研究会	C1: 一般講演	C2: 一般講演	C3: 一般講演	企業展示会
9:30~11:30							
11:30~13:00	昼 食						
13:00~14:50	パネル討論会 「同期・非同期型コミュニケーションシステムの教育利用の新しい展開」(サイバー討論会) / コーディネータ 野嶋栄一郎(早稲田大学)			D1: 一般講演	D2: 一般講演	D3: 一般講演	ポスターセッション
15:00~17:00	E1: 一般講演	E2: 一般講演	E3: 一般講演	E4: 一般講演	E5: 一般講演	E6: 一般講演	デモセッション

大会参加費	参加費	1,000円	(プログラム込み)
	論文集代	6,000円	(事前申し込みの場合は、5,000円)
	論文掲載費	1,000円	(論文1編につき)
	懇親会費	6,000円	(事前申し込みの場合は、5,000円)

### 発表・参加申し込み

発表申込 〳切: 2002年6月14日(金)

発表原稿 〳切: 2002年7月12日(金)

事前参加申込 〳切: 2002年8月 2日(金)

\* 発表・参加申込は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、申込書に記載の「申込書郵送先」またはFAXにてお申込みください。なお、6月頃から全国大会ホームページでも申込み受付を開始する予定です。

### 実行委員会事務局

〒432-8011 静岡県浜松市城北3-5-1

静岡大学情報学部小西研究室

E-mail: jsise2002@ew.cs.inf.shizuoka.ac.jp

全国大会ホームページ <http://horilab.ia.inf.shizuoka.ac.jp/JSiSE2002/>

### その他の催し(予定)

8月28日(水) 公開ワークショップ

8月28日(水) 若手研究者の集い



# 第一回 e-ラーニング技術委員会



## シンポジウム開催のお知らせ

平成14年度の教育システム情報学会が新しくスタートさせた特別委員会のひとつである“e-ラーニング技術委員会”が以下の通り第一回のシンポジウムを開催致します。

当日のシンポジウムはどなたでもご参加頂けますので皆様のご参加をお待ち致しております。

### 記

日 時：平成14年4月23日(火) 14:00~18:00

場 所：東京大学 本郷キャンパス 工学2号館 セミナー2室

東京大学正門に入って安田講堂左側のキャンパス

### プログラム

1. “e-ラーニング技術委員会”の目指すことと着目すべきe-ラーニングの活用法  
NTTラーニングシステムズ 小松 秀園
2. 「基調講演」e-ラーニングが拓く新しい社会人教育の世界  
電気通信大学 大学院 情報システム学研究科 教授 岡本 敏雄
3. 高等教育セッション  
東京大学 大学院のe-ラーニングプロジェクト  
東京大学 大学院 情報学環 助教授 山内 祐平  
信州大学 オンライン大学院の設立までの過程と世の中の反応  
信州大学 工学部 情報工学科 教授 海尻賢二
4. 休憩&デモセッション(ストリーミングビデオの制作)  
NTTラーニングシステムズ 映像事業部 山内 信治
5. 企業内教育セッション  
コンテンツの編集技術  
J-C A S T 寺田 佳子  
コンペテンシー・マネジメント推進への挑戦  
富士ゼロックス総合教育研究所 出馬 幹也  
LOMの推進活動  
産業能率大学 平田 謙次

尚、各発表テーマは委員会での検討中のテーマ名ですので、発表者のご意向により当日のテーマ名は変更される予定です。参加ご希望の方はNTTラーニングシステムズ株式会社 小松 秀園 <komatu@hot.nttils.co.jp> までご一報下さい。最新のプログラムと地図情報などを差し上げます。

ごあんない

## 2002 年度研究部会の開催日程

研究会委員会 伊藤 紘二

- 第 89 回 マルチメディア教材研究部会 ( 部会長 / 磯本征雄 )  
日 時 : 2002 年 7 月 6 日 ( 土 )  
開催地 : 岡山理科大学
- 第 90 回 C A I 研究部会 ( 部会長 / 黒瀬能幸 )  
日 時 : 2002 年 10 月 5 日 ( 土 )  
開催地 : 摂南大学
- 第 91 回 企業内教育研究部会 ( 部会長 / 小松秀圀 )  
日 時 : 2002 年 10 月 18 日 14 : 00 ~  
開催地 : 東京電機大学 ( 御茶ノ水 )
- 第 92 回 インターネットとその教育応用研究部会 ( 部会長 / 横山節雄 )  
日 時 : 2002 年 11 月 30 日 ( 土 ) または 12 月 7 日 ( 土 ) のいずれか .  
開催地 : 学芸大学
- 第 93 回 言語・知識処理応用研究部会 ( 部会長 / 伊藤紘二 )  
日 時 : 2002 年 12 月 21 日 ( 土 ) 10 : 30 ~  
開催地 : 上智大学 ( 東京 : 四ツ谷 )
- 第 94 回 情報教育研究部会 ( 部会長 / 松永公廣 )  
日 時 : 2003 年 3 月 15 日 ( 土 )  
開催地 : 大阪電通大学

注 印の開催日程が未決定の部会は、随時ニュースレターでお知らせいたします。

### 新年度 (2002 年度) の会費請求をしています。

会費の前納にご協力ください。

まもなく年度末です。4 月から新年度 (2002 年度) が始まりますので、新年度会費を同封の請求書のとおりご請求をさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

学会の諸活動は、会員のみなさまからの会費で単年度予算で運営しておりますので、前納にご協力をお願いいたします。また、不明な点についてはまことにお手数ですが、事務局へメールでお問い合わせくだされば幸いです。

問い合わせ

教育システム情報学会事務局

〒661-8620 尼崎市南塚口町 7-29-1

E-mail : secretariat@jsise.org

園田学園女子大学情報教育センター内

同封の振込用紙をご利用ください。

## e-ラーニング技術委員会の 活動メンバー募集！！

e-ラーニング技術委員会  
委員長 小松 秀圀

平成14年に新しく発足したe-ラーニング技術委員会の活動テーマは高等教育と企業内教育でのe-ラーニング普及のための諸要因を研究し、実用化情報として整理統合し、e-ラーニング導入担当者にとって有効な情報をクリエイトしようというものです。高等教育と企業内教育の目標を同じくした延長線上には、企業内教育が社会人の学位取得機能まで視野に入れた“コーポレートユニバーシティ”のコンセプトが見えて参ります。

そこでe-ラーニング技術委員会では委員会の中に高等教育プロジェクトと企業内教育プロジェクトを創り、高等教育プロジェクトのリーダーには東京大学 大学院 情報学環の山内祐平助教、企業内教育プロジェクトにはNTT-X 仲林 清カンパニー長にご担当頂き活動しております。

e-ラーニングを高等教育機関や企業内教育で普及活用するためには多くの事柄を知り、計画し、研究し、交渉し、制作し、教育し、そして評価をして学習者、執行機関および社会の支持を得ていかなければなりません。私達は様々な角度からあらゆる情報にアプローチし、研究し、最終的にはe-ラーニング導入の全集となるような情報を創造しようとしております。

e-ラーニング関連のどのような関わりを持たれる方でも歓迎です。一緒にe-ラーニング普及のための研究会に加われませんか。お待ちしております。

お問い合わせ、ご連絡はe-ラーニング技術委員会 小松 秀圀(NTT ラーニングシステムズ株式会社) <komatu@hotmail.co.jp> TEL 03(3440)1512までお願い致します。

## 新入会員の紹介

### 新入会員（敬称略）

JSiSE-A0201850	西岡佳津子	(株)日立製作所	正会員
JSiSE-A0201851	植村唯邦	園田学園女子大学	正会員
JSiSE-A0201852	梅村信夫	(学)中西学園愛知女子短期大学	正会員
JSiSE-A0201853	江見圭司	金沢工業大学	正会員
JSiSE-A0201854	東 英男	(株)ワコール	正会員
JSiSE-A0201855	北垣郁雄	広島大学	正会員
JSiSE-A0201856	舟木 繁	山梨大学	準会員

2002年度新入会員（2002年4月1日）

## 国際会議の案内

国際会議は、教育システム情報学会の会員のみなさんからの紹介やインターネット上で流れている CFP 情報をもとに編集されています。会員のみなさんに紹介したい国際会議などがありましたら、下記までご連絡下さい。また、実際に国際会議に参加されたレポートなどを送っていただければ今後の国際会議の案内作成の際に大変参考になりますので、そちらのほうもお待ちしております。

本案内はWWW

(<http://www.fu.is.saga-u.ac.jp/~hayashijisise/conf.htm>) で見ることできます。

### 新着情報 5 件

WMTE 2002: IEEE International Workshop on Wireless and Mobile Technologies in Education

開催日程: 2002年8月29-30日

主催: IEEE

開催地: Teleborg Campus, Vaxjo University, Vaxjo, Sweden

論文応募締切: 2002年4月11日

URL: <http://lttf.ieee.org/wmte2002/>

e-mail: [wmte2002@msi.vxu.se](mailto:wmte2002@msi.vxu.se)

ACM-VRST 2002: ACM Symposium on Virtual Reality Software and Technology 2002

開催日程: 2002年11月11-13日

主催: ACM

開催地: Hong Kong, China

論文応募締切: 2002年5月30日

URL: <http://www.cse.cuhk.edu.hk/~vrst2002/>

e-mail: [peng@cad.zju.edu.cn](mailto:peng@cad.zju.edu.cn)

国際会議案内文責 松原 行宏 (香川大学)

E-mail: [matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp](mailto:matsubar@eng.kagawa-u.ac.jp)

SITE 2003: Annual conference of the Society for Information Technology and Teacher Education

開催日程: 2003年3月24-30日

主催: AACE

開催地: Albuquerque, New Mexico, USA

論文応募締切: 未定

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

ED-MEDIA 2003: World Conference on Educational Multimedia, Hypermedia & Telecommunications

開催日程: 2003年6月23-28日

主催: AACE

開催地: Honolulu, Hawaii, USA

論文応募締切: 未定

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

APCHI 2002: 5th Asia Pacific Conference on Computer Human Interaction

開催日程: 2002年11月1-4日

主催: IFIP

開催地: Beijing, China

論文応募締切: 2002年4月20日

URL: <http://iel.iscas.ac.cn/apchi/>

e-mail: [fangt@iel\\_mail.iscas.ac.cn](mailto:fangt@iel_mail.iscas.ac.cn)

### 再掲載情報 2 件

e-Learn02: World Conference on E-Learning in Corporate, Government, Healthcare, and Higher Education

開催日程: 2002年10月14-19日

主催: AACE

開催地: Montreal, Canada

論文応募締切: 2002年4月10日

URL: <http://www.aace.org/conf/default.htm>

e-mail: [conf@aace.org](mailto:conf@aace.org)

ICCE02: International Conference on Computers in Education

開催日程: 2002年12月3-6日

主催: APC of AACE, Massey University

開催地: Auckland, New Zealand

論文応募締切: 2002年4月5日

URL: <http://icce2002.massey.ac.nz/>

e-mail: [icce2002\\_admin@massey.ac.nz](mailto:icce2002_admin@massey.ac.nz)

# 第 86 回研究報告

## 【インターネットとその教育応用研究部会】

研究報告書購入ご希望の方は、日本学会事務センター事業部・海外部（学協会刊行物頒布業務）まで、TEL（03-5814-5811）、FAX（03-5814-5822）Eメール（sub@bcasj.or.jp）でお申し込みください。

1部1,300円（送料共）です。残部切れの際はご容赦ください。

なお、JSiSE 会員で「研究報告」の年間購読（購読料は送料込みで年間4,000円）をご希望の方は JSiSE 事務局 TEL（06-4961-6507）、Eメール（secretariat@jsise.org）までご連絡ください（年間6回）。

この際、ぜひ購読されますようお願いいたします（教育システム情報学会研究会委員会担当 / 伊藤紘二）

.....

- ・開催日：2001年12月8日
- ・場所：東京学芸大学

1. オンライン・コンピュータテストによる経済学・経営学のIT教育実施例  
法政大学教学改革の事例研究  
後藤公彦（法政大学）

本研究は以下の目的のため企画、実施された。  
大学の期末試験・中間試験等にコンピュータシステムを導入し学生のコンピュータ技術修得を容易にするとともに、経済学・経営学の講義に定量的解析を取り入れ、時代の要請に応えること、インターネットを通じて得られる為替市場および資本市場のオンライン情報を用いて資産、例えば債券の理論価格と時価の乖離度をリアルタイムで算出させ、理系の学生にとっても経済学・経営学は面白い学問であり将来役に立つことを理解させること、デリバティブ時価会計問題と解答を学内LANにより送受信し、難解とされる現代ファイナンス理論をわかりやすく修得させること、模範解答を提出した者にコンピュータシステムを使ってプレゼンテーションを行わせ、他の学生にも同等の実力をつけさせること、教室内外のディスカッションにより学生同士が楽しく切磋琢磨しあい実力と友情を享受する環境を作ること、遠隔地の両親と出題された経済学・経営学のコンピュータレポート問題についてインターネットにより情報収集・交流することにより学校教育への信

頼、両親に対する尊敬・理解を深めさせること、およびこれらにより、大学が社会と国家の平和と進歩に貢献すること。以上の新しい教育情報システムを確立するために、われわれのオンライン・コンピュータ教育実験の中間報告を行い、皆様方と討議・切磋琢磨してさらに教育の改善・改良に資したいと思う。

2. 「公立中学校における国際交流授業の提案と報告」  
須藤建，谷内正裕（慶應義塾大学 SFC  
研究所 CAMILLE 所属）

これは慶應義塾環境情報学部にも所属する学生によってデザインされた、異文化理解、「情報」リテラシー、メディアリテラシーのためのカリキュラムである。「音」と「音楽」が授業の主要なトピックとなっている。現在このプロジェクトには、神奈川県藤沢市にある秋葉台中学校、高倉中学校の二校が日本から、海外からは、ニューヨークにある Mott Ha11 II School と、ハワイにある Waipahu High School が授業に参加している。

3. 「アマチュア衛星データ配信システムの構築と教育利用」  
浅井文男（奈良高専）

アマチュア衛星と呼ばれる人工衛星を利用した初等・中等教育機関対象の科学教育プロジェクトが企画・実施されている。児童・生徒は衛星からのデータを受信し、解析することで、科学の方法

を習得したり、宇宙空間や地球環境に対する認識を深めることができるものと期待されている。本研究では初等・中等教育機関におけるアマチュア衛星の教育利用の推進を図ることを目的として、インターネット環境を活用したアマチュア衛星データ配信システムを構築した。このシステムを使用すれば、受信ソフトをインストールしたパソコンをインターネットに接続するだけで、だれでも、どこでも容易にアマチュア衛星のデータを受信することができる。システムはすでに稼働しており、中学・高校の課外活動や科学館の普及活動などで利用する試みが開始されている。

#### 4. 「DVTS を利用した遠隔講義システムの構築」 市田 一，海尻 賢二（信州大学）

WIDE プロジェクトで開発された Digital Video(以下 DV)の動画をネットワークによって遠隔地へ放送することができる Digital Video Transfer System(以下 DVTS)[1]というシステムがある。本論文ではこのシステムをテレビ会議システムとして利用し、信州大学で利用した際の結果と利点、問題点を挙げる。

#### 5. 「進化するウェブベース教材配信システム」 石川 孝，松田 洋，高瀬浩史 （日本工業大学）

本論文は、ウェブベース教材の活用を図るために変更可能な「授業プラン」の導入を提案し、この提案に基づくウェブベース教材配信システムの開発について述べた。この教材配信システムは、1)インターネットで公開された教材をデータベース化して利用しやすくする、2)ウェブベース教材を利用する授業プラン(シナリオ)を簡単に作成できる、3)既存のウェブページの素材をコピー＆ペーストで再利用できるようにして、相互利用によるウェブベース教材を進化させる(相互利用と質を向上する)ことを目標としている。本論文で提案するウェブベース教材配信システムは、現在、プロトタイプシステム『Web教材の森』の公開評価を実施している。

#### 6. 「公開範囲を指定可能な学習成果物発信システム」 川戸貴博、今井智明、佐々木整、竹谷誠 （拓殖大学）

小・中学校にパソコンが導入され始め、インターネットを教育現場で使用する機会が増えている。児童・生徒の学習活動の様子は、テスト結果や通知表などで保護者に知らせるのが一般的であるが、インターネットを利用した児童・生徒の学習活動の様子を公開する試みがなされ始めている。しかし、児童・生徒の情報の公開は・個人情報の漏洩やプライバシー侵害等の問題ある。それらの問題に配慮した Web ページの管理をする場合、教授者などの負担が増えてしまう。そこで、本研究では安全に配慮しながら情報公開の範囲を指定し、児童・生徒の学習状況や成果を簡単に公開することができるシステムの開発を行う。



